

SBSグループは、物流という社会インフラを担う企業としての責務を強く認識しています。そして、世界が直面する諸課題と解決の方向性を示す持続可能な開発目標 (SDGs) を重視し、その実現に貢献することを経営の方針における一つの基礎としています。

SBSグループが SDGsを通して描く 未来像

社会的活動への“お役立ち”の 機会を最大化する

支援物資の輸送、資源リサイクルの推進をはじめ多岐にわたる、物流システムが社会的活動に貢献できる機会を、合理的に実現できるかぎり最大化していきます。

効率的で持続可能な物流システムを 国内外において構築する

社会生活と産業活動の基盤である物流システムの利便性、安全性、環境性能の水準を、進化するテクノロジーを最大限に活用し、次の次元へと高めていきます。



誰もがその個性を発揮し活躍できる 機会を、新しい“当たり前”にする

包摂的な世界の構築に向けて、あらゆる人が自分の個性を発揮し、自分が備える本来の可能性を追求する機会を、直接・間接に創出していきます。

多様な主体とのパートナーシップを、 社会の隅々にまで広げる

行政、金融機関、研究機関、非営利団体、そして生活者の皆様を含む幅広い立場の方々との協力関係を、SBSグループが事業を展開する各地で広げていきます。

SBSグループは、SDGsを“2030年に向けて、あらゆるステークホルダーとより良い世界を創り上げていくためのビジョン”として捉えています。そして、SBSグループの事業活動の文脈において、以下の3+1の未来像を描き、その実現に向けた取り組みを進めています。

SBSグループが現在取り組んでいる11のSDGs

目標	2030年に向けたターゲット	現在の取り組み
 2 飢餓をゼロに	飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する	2.1: 飢餓を撲滅し、すべての人々、特に貧困層および幼児を含む脆弱な立場にある人々が一年中安全かつ栄養のある食料を十分得られるようにする。 ①フードバンク支援
 3 すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	3.6: 世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。 3.9: 有害化学物質、ならびに大気、水質および土壌の汚染による死亡および病気の件数を大幅に減少させる。 ①運輸安全マネジメント推進 ②シンシアチャレンジ2030(中・長期環境計画)
 4 質の高い教育をみんなに	すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	4.3: すべての人々が男女の区別なく、安価で質の高い技術教育、職業教育、および大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。 4.4: 技術的・職業的スキルなど、雇用、ディーセント・ワークおよび起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。 ①人材育成基本方針と教育研修計画 ②社会的養護を受ける生徒への奨学金給付事業(財団)
 7 持続可能なエネルギー	すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	7.2: 世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。 7.3: 世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。 ①太陽光発電による再生可能エネルギーの送出 ②シンシアチャレンジ2030(中・長期環境計画)
 8 持続可能な経済成長	すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する	8.2: 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上およびイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。 8.5: 若者や障害者を含むすべての男性および女性の、完全かつ生産的な雇用およびディーセント・ワーク、ならびに同一労働同一賃金を達成する。 8.8: 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。 ①「人権尊重ならびにハラスメント行為根絶」宣言 ②人材育成基本方針と教育研修計画
 9 持続可能な産業とイノベーション	レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る	9.1: 質が高く信頼できる持続可能かつレジリエントな地域・越境インフラなどのインフラを開発し、すべての人々の安価なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援する。 9.4: 資源利用効率の向上とクリーン技術および環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取り組みを行う。 ①物流インフラの強化、LT・ITの強化 ②物流研究助成(財団)
 11 持続可能な都市と人間居住	都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする	11.2: 脆弱な立場にある人々、女性、子ども、障害者、および高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、すべての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。 11.6: 大気汚染物質、自治体などによる廃棄物管理への特別な配慮などを通じて、都市部の一人当たり環境影響を軽減する。 ①モーダルシフトへの対応 ②物流インフラの強化、LT・ITの強化 ③リスクマネジメント ④物流研究助成事業(財団) ⑤シンシアチャレンジ2030(中・長期環境計画)
 12 つくば減らす 持続可能な消費と生産	持続可能な消費と生産のパターンを確保する	12.5: 予防、削減、リサイクル、および再利用(リユース)により廃棄物の排出量を大幅に削減する。 ①シンシアチャレンジ2030(中・長期環境計画) ②静脈物流事業の機能を拡大
 13 気候変動に具体的な対策を	気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る	13.3: 気候変動の緩和、適応、影響軽減、および早期警告に関する教育、啓発、人的能力および制度機能を改善する。 ①シンシアチャレンジ2030(中・長期環境計画) ②気候変動リスクと対応策
 15 陸の豊かさを守る	陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る	15.8: 侵略的外来種の移入を防止し、これによる陸・海洋生態系への影響を大幅に減少させる。対策優先種の駆除または排除を行うための対策を導入する。 ①環境保全の取り組みへの協力
 17 パートナリシップで目標を達成しよう	持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	17.17: さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。 ①事業活動とCSR経営におけるパートナーシップ ②ソーシャルセクター支援